

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">心理学</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文1 回生 文学部英米1 回生 文学部文財1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">広沢 俊宗</p>
<p>授業テーマ</p> <p>人間の行動と心理、および人間関係の心理学</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>現代人の生活領域が拡大し、それに関わる要因も複雑多岐に渡っている。そういう中で人間の行動について考えることによって、その根底にある心の動きを解明していきたい。具体的には、「Ⅰ. 心理学とは」「Ⅱ. パーソナリティ」「Ⅲ. 発達」「Ⅳ. 学習」「Ⅴ. 教育」「Ⅵ. 対人魅力」「Ⅶ. 親密な人間関係」「Ⅷ. 対人コミュニケーション」の8つのテーマについて講義する。</p>		
<p>評価方法</p> <p>前期試験（50%）と後期試験（50%）によって、総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>ワークショップ 心理学 CAB検査</p>	<p>著者</p> <p>藤本忠明・東正訓他 倉智佐一・山中範子他</p>	<p>出版社</p> <p>ナカニシヤ出版 情報センター</p>
<p>参考書</p> <p>ワークショップ 人間関係の心理学</p>	<p>著者</p> <p>藤本忠明・東正訓編著</p>	<p>出版社</p> <p>ナカニシヤ出版</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学とは 心理学とはどのような学問かを、その研究領域の広さとさまざまな研究方法から理解する。 2. パーソナリティ (1) パーソナリティとはどのようなものか、また、その形成（遺伝か環境か）について学習する。 3. パーソナリティ (2) クレッチマーの性格類型論をもとに、類型論の考え方を理解する。 4. パーソナリティ (3) 性格検査を体験することによって、特性論の考え方を理解する。 5. パーソナリティ (4) さまざまなパーソナリティの測定法について概観する。 6. 発達 (1) 発達とはどのようなものかを生涯発達の視点から学ぶ。 7. 発達 (2) 発達の原理について理解する。 8. 発達 (3) 人間の一般的な発達段階と発達課題について学ぶ。 9. 発達 (4) 発達の諸相について学習する。 10. 発達 (5) 発達の諸相について学習する。 11. 学習 (1) 学習とはどのようなものかを遂行と比較しながら学習する。 12. 学習 (2) 古典的条件づけのメカニズムを理解する。 13. 学習 (3) オペラント条件づけのメカニズムを理解する。 14. 学習 (4) 学習性無力感とはどのようなものかを理解する。 15. 最終試験 今までの内容がどの程度理解できているかを試験によって把握する。 16. 教育 (1) いじめの起こりやすい学級集団の特徴について考察する。 17. 教育 (2) 教師に求められる教授方法のポイントについて学習する。 18. 教育 (3) 理想的な教師のリーダーシップについて考察する。 19. 対人魅力 (1) 対人魅力の規定因（近接性、単純接触の効果、身体的魅力）について理解する。 20. 対人魅力 (2) 対人魅力の規定因（類似性、相補性、好意の返報性）について理解する。 21. 対人魅力 (3) 好かれる人・嫌われる人の特徴について考察する。 22. 親密な人間関係 (1) 特定の異性への感情を自己診断テストによって測定し、好意と愛情について理解する。 23. 親密な人間関係 (2) 愛情の構成要素、愛情の類型について学習する。 24. 親密な人間関係 (3) つり橋効果、SVR理論などについて学習する。 25. 親密な人間関係 (4) 愛情の危機的過程について、失恋などを取り上げて考察する。 26. 幸福感と人間関係 主観的幸福感の規定因をグループワークによって抽出し、発表する。 27. 対人コミュニケーション (1) 対人コミュニケーションプロセスモデルについて学習する。 28. 対人コミュニケーション (2) 非言語コミュニケーションについて学習し、パーソナルスペース、対人距離などを理解する。 29. 対人コミュニケーション (3) 聞き上手・話し上手になるためのノウハウについて学習する。 30. 最終試験 今までの内容がどの程度理解できているかを試験によって把握する。 		